

金沢市立城南中学校	読む力・話す力向上推進校
-----------	--------------

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 重点1 読む力と話す力の視点から言語活動を取り入れる授業改善

「自分の言葉で表現したり言い換えたりする場面」や「根拠や理由をつけて考えや意見を表現する場面」して、活動場面には★を提示する。

**角度が等しくなる条件を自分の言葉で説明
証明を根拠をつけて説明**

2年 図形の性質の調べ方を考えよう
平行線と角

証明



実験結果から根拠をつけて表現(考察)する

2年 生命分野
唾液のはたらき



1年 物質分野
いろいろな気体とその性質



(2) 重点2 リーディングタイム（説明文を読みとる活動）

説明文を文章のまとまりを意識して、5分間視写する。文章を読み、わからない言葉に線を引き、辞書やインターネットを活用して意味を調べる。




①5分間(8:10~8:15) **視写**

②10分間(8:15~8:25) **言葉の意味調べ**



2 取組の検証

(1) 重点1 読む力と話す力の視点から言語活動を取り入れる授業改善

授業者が★を提示して言語活動を取り入れた場面は、37%であった。各教科の実施率は表1を参照。生徒アンケートで「自分の言葉で表現したり、言い換えたりすることができた」の肯定的評価の割合は83%（表2参照）、「根拠や理由をつけて、自分の考えや意見を表現することができた」の肯定的評価の割合は80%（表3参照）であった。

表1

教科	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体
実施率(%)	30	49	50	28	54	36	24	27

表2

教科	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家
肯定的評価(%)	82	87	86	82	74	84	84	84	83

表3

教科	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家
肯定的評価(%)	76	84	79	80	70	79	82	83	83

(2) 重点2 リーディングタイム（説明文を読みとる活動）

生徒アンケートで「リーディングタイムで文章の内容を理解することができた」の肯定的評価の割合は88%、「リーディングタイムで新しい言葉を覚えることができた」の肯定的評価の割合は84%であった。

3 成果と課題

成果として、言語活動を取り入れた授業を昨年度より10%増やすことができた。生徒アンケートで「授業や学習について、力がついた、わかったと思える学習活動はどんな活動ですか」に対して、『対話や学び合いグループ活動（説明する&教えてもらう）』と回答した生徒が最も多く、話し合う活動（言語活動）を通じて自分の考えを深めたり、広めたりすることができたと感じた生徒はアンケート結果から3年93%、2年84%、1年89%であった。言語活動の取り組みを通じて、生徒に自ら学び、考え、成長につながる力が育まれることを期待したい。

課題として、今後、生徒が主体的に対話する時間をできるだけ多くできるような授業力を学校全体でつけていくこと、多くの生徒が言語活動に関われるようにICTの効果的な活用していくことが必要である。また、生徒が根拠や理由をつけて説明できるような活動を授業場面以外でも意識して展開していきたい。